

【参考様式】

サービス改善計画書

策定日：令和6年2月28日

事業・サービス名：放課後等デイサービス

施設・事業所名：マザーズ守山

| 自己評価項目 | 評価結果 | 問題点・課題 | 改善内容と目標 | 時期と期間 | 責任者 | 備考 (必要な予算等) |
|--|------|------------------------------|---|-------------------------|-----|----------------|
| 放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の支援内容の情報提供 | | | 今後、卒業生の移行については随時、情報提供をおこなっていく。 | 令和4年1月から継続しておこなう、終了はない。 | 小石 | |
| 第三者による外部評価 | | 会議、療育、など社外人物の目線が欠けている。 | 法令遵守や記録については法人でコンプライアンスチームをつくり、事業所間で確認している。法令遵守以外の療育面での現場運営方法については、相談員に見学に来てもらうなど第三者の目を入れていく。 | 令和6年4月から令和6年12月まで | 森川 | ¥50,000 |
| 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | ようやく感染症に対する対策、対応も緩和、徹底されてきた。 | 運動会やバザー、職業体験などイベントの参加設定を工夫し、今後は障がいのない子どもも参加できるイベントを地域交流もかねて実施していく。 | 令和6年1月から令和7年3月まで | 森川 | ¥60,000 |
| 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ようやく感染症に対する対策、対応も緩和、徹底されてきた。 | インクルージョンの観点から運動会やバザー、職業体験などイベントの参加設定を工夫する。地域の方も参加できるようなイベントをR6年度は企画する。 | 令和6年1月から令和7年3月まで | 森川 | ¥50,000 |
| 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | | 新規入所全員に対して確認はできていない。 | 実施はしているので、R6.7年度入学生に対して実施していく。 | 令和6年4月から令和7年3月まで | 森川 | |
| 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | | 時間がないを理由に、延期になりがちである。 | ケース会議等に参加し情報共有を行うことはあるが、研修を受ける機会が少ない。市の自立支援協議会等、機会を探っていく。 | 令和6年4月から令和7年3月まで | 森川 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |